

# 組合だより

第198号

2016年

4月19日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp)

目次： 1：委員長あいさつ 2~4：各単組からの呼びかけ 5~6：質問書・意見書・要求書に対する回答  
7：全大教単組代表者会議報告 8：フーテン旅行記

## 岡山大学職員組合に入り、力を合わせて よりよい大学にしていきたいと思いますか！

ようこそ岡山大学へ



執行委員長 高橋裕一郎

桜の花とともに新年度が始まりました。新たに岡山大学に就職された皆さん、おめでとうございます。心から皆さんを歓迎致します。私たちは皆さんと力を合わせて岡山大学をよりよくしていきたいと思っています。皆さん、一緒に岡山大学の教育・研究条件をよくし、働く環境を改善していきましょう。そのために教職員が自主的に作っている組織が、岡山大学職員組合です。今回は、職員組合の組織と活動を紹介します。

岡山大学職員組合は、部局ごとに組織されています。例えば、理学部に所属する教職員であれば、理学部単組に属します。各単組は、その構成員間の親睦を深め、あるいは部局長と大学の教育・研究環境の改善に向けて交渉することなどの役割を果たしています。

大学が法人化されてから、権限が大学執行部に集中してきました。学長のリーダーシップやトップダウンにより大学の方針が決定されるようになりました。しかし、岡山大学の運営にはボトムアップにより各構成員の意見や提案を吸い上げることも重要で、執行部もそのことを重視するという方針もっていると言われていています。しかし、このボトムアップは必ずしも有効に機能していないのではないのでしょうか。このような状況で、大学の執行部と交渉するのは、各単組が集まって作っている連合体である岡山大学職員組合です。岡山大学職員組合のホームページの過去の「組合だより」をご覧になれば、これまでの活動を理解

して頂けると思います。

全大教は国公立大学・高専職組の全国組織で、労働条件や学問の自由に関する事など、全国的な課題について文部科学省などと直接交渉を行っています。全大教は特定の政党を支持することはしていませんし、構成員に支持を求めることもしません。しかし、重要な問題が起これば、各政党を廻ってロビー活動を行うこともあります。

全国の大学でも同じような動きが加速されているようですが、岡山大学では大きな組織や教育制度の改革が進められており、私たちの教育・研究環境が大きく変化しています。岡山大学職員組合は、この新学期から始まった教育制度の4学期制の問題点や改善策等の提言を積極的に行ってきました。部局を越えた提言ができるのは職員組合ならでの活動です。今後も岡山大学の教育・環境や教職員の権利・利益擁護のためにも活動を続けていきます。是非皆さんも組合への参加を検討して下さい。



岡山大学大学院教育学研究科

泉谷淑夫 <アルカディア>2015

## 組合活動を通じて、以下のような成果を上げています！

- \* 年俸制導入、60分授業・4学期制導入の問題点を明らかにしました。
- \* 臨時特例法による給与削減に対し、2012年度は全国トップレベルの減額幅圧縮、13年度は調整手当プラス2%を獲得。
- \* 育児参加休暇：出産前8週間・出産後8週間に延長。
- \* 子の看護養育休暇：学校行事への出席等を含め、対象を小学校3年生に拡大。
- \* 夜間看護手当：1ヶ月に8回を超えて夜間看護した場合は1回につき2,000円を追加支給。

## 各学部単組もあなたの加入をお待ちしています！

### 法文経学部職員組合



法文経職員組合は文学部、法学部、経済学部の3学部にも所属する教職員のための組合です。

職員には既に年俸制が導入され、4月からは60分授業・4学期制がスタートします。時間をかけて十分に議論を尽くしたというよりも大学執行部主導の見切り発車です。このため、今後の研究教育活動や業務の遂行にどのような影響が生じるのか、しっかりと見極めていく必要があります。独自性が強調される制度ですが、果たしてどれくらいのプラス効果をもたらすのか気がかりです。運用上の問題点はつぶさに指摘し、その改善策を要求していかなければなりません。制度は設計よりもむしろ運用に至るまでの動機づけやモニタリングが重要で、その役割を担う職員組合の存在意義はきわめて大きいと言えます。

なお、法文経職員組合では、夏にビール大会、冬に新年会、春に職場懇談会を開催するほか、数回（今年度は4回）の文化教養講座、さらに学生奏者を招いたランチタイムコンサートを積極的に開いて、組合員相互の親睦や情報の共有に努めています。

個人では限界がありますが、皆で助け合えば大きな力になります。4月に新たに教職員になられた方はもちろん、まだ組合員でない方も是非加入して頂き、職場環境や勤務条件の改善のために、一緒に力をあわせて頑張りましょう。

(連絡先)

委員長 北 真収 内線 7555  
m8kita@okayama-u.ac.jp  
書記長 張 紅 内線 7493  
asianlaw@hotmail.com



### 農学部職員組合

農学部職員組合では「芋掘り会」の開催や労働

環境に関するアンケートおよびアンケート結果に基づいた学部長・山陽圏フィールド科学センター（FSセンター）長との懇談会を実施しています。（2015年度の懇談会は、学部長のみ実施）

「芋掘り会」はFSセンターの全面的な御協力の下、たくさんの大きなお芋を収穫する喜びを味わっていただいております。農学部だけでなく、様々な部局から毎年多くの方々にご参加いただきご好評をいただいております。アンケートでは労働環境に関わる様々なご意見・ご要望を伺い、それらを踏まえて学部長・FSセンター長と意見交換を行うことで、微力ではありますが労働環境の改善に努力を続けています。また、組合のメーリングリストやウェブページを活用して、組合員の皆様との迅速な情報共有に取り組んでいます。

農学部職員組合の活動にぜひご参加下さい。

(連絡先)

委員長 辻 岳人 内線 8325  
takehito@okayama-u.ac.jp  
書記長 金尾 忠芳 内線 8398  
tkanao@okayama-u.ac.jp



### 工学部職員組合

工学部職員組合の平成28年度の状況は、まるでアメリカ大統領選挙のように予測不能な大激震が待っているかもしれません。なぜなら、岡山大学の現状、もっと言えば日本全体の国立大学法人の現状は予断を許さぬものとなっているからです。文部科学省は何が何でも大学を変化させ、一般企業のようにしようと画策していますが、大学のような高等教育機関は当然そのようなものではなく、独自のあり方が必要です。それにもかかわらず、現状では、事務職員に占める、非常勤職員の割合は高くなる一方で、教育・研究職員でも年限付職員の割合が高くなり、余裕のある長期的視野を持った研究はもはや高嶺の花の状態と

なっています。さらに、大学本部の裁量権が増加するにつれ、もしかするとあまり意味がないのではないかというような部門への経営資金の投入が目立っていますが、大学の場合は残念ながらそれを監視する機関がうまく働いていないため、最悪の場合には執行部の暴走も起こり得ると考えられます。以前は、一般職員は大学経営などは偉い人に任せ、日々の業務をこなしていればよかったのですが、今はそんなことは言っておられません。なぜなら、大学経営の綱とりを万が一失敗すれば、職員全員路頭に迷う可能性さえあるからです。ところが、一般職員が大学の経営を監視し、意見を言える機会はますます限られてきています。その中で職員組合は唯一労働法に基づき、大学に対して意見を言える立場を死守しています。4月からは60分・クォーター制も始まり、それ以外にも受験生の急減などの至急対処すべき様々な問題がありますが、これらは他人ごとではないのです。岡山大学職員組合は、過去、多くの問題に対して適切な指摘を行ってきました。あれやこれや大変な問題が山積していますが、組合の努力により、なんとかこのような問題を少しでも改善する方向へと変えることが可能であると信じています。もし工学部職組に少しでも興味を持たれた方は下記までご連絡ください。みなさんにとってきっと新しい世界が広がりますよ。

(連絡先)

委員長 柳瀬 眞一郎 内線 8226  
書記長 上森 武 内線 8033

## 教育学部職員組合



教育学部職員組合は、職場の仲間が働きやすい環境づくりに努めています。

レクリエーション企画も豊富で、今年度は、ビアパーティー、ボウリング大会と新年会、そば打ち体験などを実施し、懇親を深めることができました。教育学部の職員組合の特徴は、組合員だけでなく、非組合員にも情報を共有し、職場全体の一体感に貢献しようとしていることです。

組合の存在意義は、レクリエーションだけではありません。学部執行部との懇談会を通して、組合員の声を伝え、職場環境の改善に取り組み、全学職員組合の質問状や要望書、団体交渉を通して、様々な労働環境に関わる問題に取り組んでいます。今年度は、教育学部の未来を考える会を開催し、大学組織の自律や教育職員免許法の改正という大きな流れの中で教育学部の進む方向性を参加者とともに考えていきました。

教育学部の未来は、決して明るく広がるイメージではありません。むしろ大変苦しい状況にあると思われます。そんなときだからこそ、教育学部職員組合に一人でも多くの方に参加していただき、みんなで力を合わせて少しでも働きやすい職場にしていきたいと思っています。

(連絡先)

委員長 長岡 功  
isaon@okayama-u.ac.jp  
書記長 上村 弘子  
kamimu\_h@okayama-u.ac.jp



## 理学部職員組合

理学部は5つの学科(数学・物理・化学・生物・地球)からなり、約130人の教職員が所属しています。その中で理学部職員組合の組合員数は2割弱の24名です。あまり大きな組織とはいえませんが、互いの理解や親睦は深いと思います。それには夏のビアパーティーや冬の新年会などの各種の催しも一役買っています。互いの絆を深めることで協力し合う意識が芽生えるからです。

もちろん、それだけではありません。組合の基本として少しでも待遇や職場環境の改善をしていきたいとの思いがあるからです。現在の岡山大学は、60分授業・4学期制や年俸制、GDPに見られるように、様々な改革が進んでおりますが、夫々に問題が含まれております。例えば、俸給の2%カットについても調整手当が支給され、2年限りは今までと同じ給与が保障されていますが、退職金にはそのような調整が適応されず、引き下げられた俸給表をもとに計算されることをご存知でしょうか。また日々の通勤のための駐車料金にしても、その値上げは常勤職員だけでなく、非常勤職員にも影響を及ぼします。そのような様々な問題に組合は真摯に取り組んでおります。

しかしながら、2割弱の組織ではやはり限界もあります。皆様のご協力が得られれば得られるほど、その影響力は増していきます。一人でも多くの方に理学部職員組合に加入していただき、共により良い職場を目指していきましょう。

(連絡先)

委員長 長尾 暢頭 内線 7812  
nagao-n@okayama-u.ac.jp  
書記長 中堀 清 内線 7859  
nakahori@okayama-u.ac.jp



## 附属学校園職員組合



平成28年3月22日の定期総会で、28年度の活動方針と役員が決まり、28年度の活動がスタートしました。

附属学校園の教職員は、岡山県との人事交流で、県内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校から転勤してきています。

そのため、組合員の権利の保障と待遇の改善に関する活動については、県や市の待遇と比較しながら交渉をしてきています。民主的な職場の確保について、教職員からのアンケートを基に、勤務時間に関わること、変形労働時間や休暇に関わること、賃金に関わることなどについて話し合い、職場の声を届け続けることで、少しずつ改善されてきています。今後も引き続き交渉し、ぜひ改善につなげていきたいと思っています。

また、組合のもう一つの大切な活動、附属学校園の職員の交流・親睦では、夏休み中を中心にレクリエーションを行ったり、『ODU ポロシャツ』の組合員への配付を行ったりしてきました。

これまでの先輩方の活動のおかげで今の職場があることに感謝しつつ、今年度も活動をつなげたいと考えています。是非、組合への参加、および、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 医学部職員組合



「新しく入職されたみなさん、おめでとうございます。今年就職した方々、新たな職場に就いた方々、夢と希望に満ちた多忙な毎日をお過ごしではと思います。鹿田地区は、さまざまな職種と幅広い年代の教職員で成り立っています。そのような中で働いていると各職場により、悩んだり、困ったり、相談してみたいこともさまざまです。そんな時に職場の垣根を超えて拠りどころとなるのが職員組合だと思

ます。職場アンケートを行いたいへん多くの声を発信したり、国会請願署名を行ったりして、より良い職場をつくろうとみなさんとともに活動しています。また、組合に入ると“ろうきん”や“教職員共済”の各種保険など生活を守り支援する特典がお得に利用できます。すぐ身近にある職員組合を大いに利用してください。平日は、書記さんがいますので、何でも聞きにお越しください。」  
組合事務所は、中央診療棟3階北側通路東寄りにあり、黄色い看板が目印です。

(連絡先)

鹿田事務所 内線 7632 (平日 11時～15時)  
shikataunion@gmail.com

環境理工学部、薬学部、全学センター等の教職員、本部職員の方は、直接「連合体」に加入できます。学内便、メールにて連合体事務室(岡本)まで、ご連絡ください。  
ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp

- ① 各学部の組合(単組)に加入することで、全学の「岡山大学職員組合(連合体)」に加入したことになります。
- ② 「組合費」は単組毎に異なります。連合体分は毎月各職級の80号俸の0.5%です。
- ③ 有期雇用職員の方も加入できます。
- ④ 組合の活動には、単組毎の活動と連合体の活動があります。連合体は、大学執行部との団体交渉、学習会、レクリエーション活動、コーラスサークル、「組合だより」の発行、全国の大学組合との連携等を行っています。

組合費は単組ごとに異なり、連合体分に各単組分を加えた金額になります。

連合体分は、職級別に定めており、毎月、各職級の80号俸×0.5%(100円未満切り捨て)になります。

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
教育職員	1,400円	1,700円	2,000円	2,200円	2,600円	
一般職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,800円	1,900円	2,000円
医療職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,000円
看護職員	1,300円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,100円

年俸制の教員は、教授：教育5級、准教授：教育4級、講師：教育3級、助教：教育2級、助手：教育1級の組合費と同額となります。なお、非常勤職員等は別途規定があります。

短時間勤務職員の方の組合費は、一律500円となっています。この機会にぜひ組合加入をご検討ください。

### 3/7 駐車料金値上げに関する要求書に対する回答が届きました

1. 駐車料金を改定する理由を明らかにすること。

<回答>

これまで駐車料金は構内の安全確保のため、交通整理委員の業務委託費やゲートリース料、また関係する業務費、駐車場整備や交通安全対策等の一部として活用してきた。

しかしながら、近年国からの運営費交付金や施設整備費の十分な予算措置が見込めない状況となり、大学が独自に財源を確保しなければ計画的な整備や安全対策を進めることが困難な状況となっている。

よって今回、津島地区の駐車料金の見直しにより、大学の自己財源の確保を図り、大学構内の安全対策や環境整備のために活用していくこととなった。

2. 平成 26 年度および平成 27 年度の駐車料金の黒字分は駐車場などの整備に使われたと認識しているが、その黒字の金額と具体的にどの整備にいくら使用したのか内訳を明らかにすること。

<回答>

平成 26 年度は東キャンパスの幹線道路整備、ピオーネ西道路整備等に 1,590 万円を使用した。

平成 27 年度は西キャンパスの幹線道路整備、文・法・経済学部前道路カーブミラー増設等で約 1,600 万円を予定している。

3. 平成 28 年度の駐車料金改定の結果見込まれる平成 28 年度の黒字額を明らかにすること。またそれを具体的にどのような整備にいくら使用する予定か内訳を明らかにすること。

<回答>

今回の駐車場料金改定による影響額については、約 1,400 万円の増収を見込んでいる。今後は安全確保のため構内の環境整備等に活用する予定としている。

4. 自動車通勤者は通勤距離が片道 5km 以上とされているが、非常勤職員も含めて、個別の公共交通機関の利用環境などを十分に考慮した制限へ緩和(もしくは変更)すること。

<回答>

現在、津島地区の入構許可については、「国立大学法人岡山大学(津島地区)構内交通規制等実施要項」(一般駐車許可証)第 8 条第 1 項により「通勤距離は片道 5km 以上」としているが、同条第 2 項第 1 号～第 5 号により「特殊事情」による使用許可を認める運用をしている。

組合では、環境整備の内容と予算について以下の要求を予定しています。

- ・教職員の臨時駐車は 2016 年 3 月までと同じく 1 日の最高限度額を 500 円とすること。
  - ・駐車料金の収支決算を明らかにすること。
- その他、皆様からのご意見をお待ちしています。



### 2016 年 3 月 31 日に有効期限満了を迎える職員証の

### 取り扱いについての意見書への回答です。

1. 職員証は岡山大学の職員であることを内外に証明するものであり、そこに疑義のある記述があるものを職員証として用いることには大きな問題がある。

<回答>具体的な疑義は以下 2~7 とおられますので、以下で回答いたします。

2. 2016 年 3 月 31 日で有効期限満了を迎える職員証にはこの職員証の期限が 2016 年 3 月 31 日であることとともに有効期限が満了したときにはこの職員証を発行者に返還しなければならないと明記しである。したがって有効期限を過ぎた職員証を持っている人物がその期限を過ぎた職員証を所持しているという事実でもってその信用を失う可能性を捨てきれない。

<回答>身分証としては学長印が印影印刷された合成紙カードを発行することとしており、改正後の要項の附則において旧職員証と合成紙カードを同時携行するように義務付けているため、ご指摘のような問題が生じることはないと考えます。

3. 2016年3月31日に有効期限が切れる職員が多数いることを岡山大学は以前から把握できているはずであり、「更新費用を確保できない」という理由には妥当性がない。  
 <回答>2016年3月31日に有効期限が切れる職員が多数いることを以前から把握しており、経費の確保に努めておりますが、教育・研究活動や教職員の人件費等、大学として優先的に予算を振り向けるべき項目は他にも多数あり、苦渋の決断と考えています。
4. 通知を読むと、2016年3月31日に有効期限満了を迎える職員以外に対しては今後ともこれまでと同じようにIC付き職員証を発行するように解釈できる。そうであるならばなおさら合成紙カードの職員証の有効性が疑われる場面があり得ると思われる。  
 <回答>上記2で回答したとおり、合成紙カードには学長印が印影印刷されるため、ご指摘のような問題が生じることはないと考えます。
5. 今後も新規職員などにIC付き職員証を発行するならば、2016年3月31日に有効期限満了を迎える職員にも順次予算をつけて旧職員証をIC付き新職員証に交換すべきである。  
 <回答>上記3で回答したとおり、引き続き経費の確保に努めてまいります。教育・研究活動や教職員の人件費等、大学として優先的に予算を振り向けるべき項目との兼ね合いがあり、具体的な期日について回答できかねます。
6. 新職員証も写真付きだそうだが、写真付きの場合は職員証の期限を設定しないのは難しいのではないか。もし27歳で入職して30年勤めた場合27歳の写真の職員証が57歳でも有効というのは無理があると考え。例えば顔写真のついている運転免許証は最大有効期限が約5年、日本のパスポートの有効期限は10年である。  
 <回答>合成紙カードには学長印を印影印刷し、大学に在籍する教職員として証明をしていることになりしますので、問題はないと考えます。敢えて定期的に写真を更新するとした場合、上述した経費の問題や教職員に無用の手間を取らせる問題が生じます。
7. 本当に更新費用の捻出が難しいのであれば、ICカード付きの入館証と職員証を別にするなどの抜本の変更をするべきではないか。  
 <回答>抜本の変更を行うにしても経費の問題が生じますが、引き続き検討してまいります。

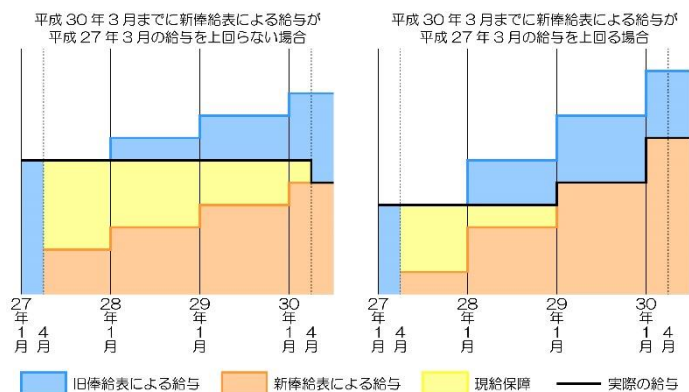


大学の教育・研究や組織の改革などが学長のガバナンスとリーダーシップの強化の旗印の下に進められています。改革の全てを否定するつもりはありませんが、改革が正しい方向を向いているのか、迷走しているのか、判断しにくいことが多く感じます。今回の有効期限満了を迎える職員証の問題では、皮肉にも学長のリーダーシップが思うように発揮されていないことを垣間見たような気がしてなりません。4月15日の時点で新しい職員証は私の手元にまだ届いていませんが、職員証の提示を求められる機会もないため、不便を感じることはないのは幸いです。職員証問題は小さな問題かもしれませんが、「改革」続きで職員の疲労が極限に達し、問題が起こっても、または起こると予想されても、それに対する適切な対応ができない、もしくはしにくい状況が岡山大学で起こっているとすれば、憂慮せざるを得ない状況ではないでしょうか。そうではないと信じたいのですが。

### 3/14 年俸制関連等に関する質問書への回答がありました

退職金についての質問に対する回答で、現在、現給保障中の職員が退職したとき、退職金の算出に使われる金額は現給保障額ではなく、改定された俸給月額に基づくことが明らかになりました。

平成27年4月の俸給表減額改定では、平成30年3月までの現給保障(右図参照)がなされていますが、退職金への影響も含め生涯賃金でみたときの影響はたいへん大きく、組合では、給与増、もしくは何らかの代償措置を法人に対し求めていきます。





## 全大教単組代表者会議報告

2016年2月20日、21日に福岡で全大教中国四国地区・九州地区合同地区別単組代表者会議が行われました。全大教執行部と12大学から合計22名の参加がありました。

内容は大きく三つ1)「組織拡大、全大教と単組の組織・財政強化」2)「賃金・労働条件」3)「大学・高等教育、平和・民主主義」でした。それぞれに対し全大教からの報告と質疑、各単組からの報告がありました。

### 1. 組織拡大、全大教と単組の組織・財政強化

各単組での組合員減少とともに各単組の財政状況が悪化しているため、全大教の財政が逼迫しているという状況が説明されました。大学での労働条件が急速に悪化している今、組合加入促進の取り組みは最重要課題の一つとなっています。

今回は特に病院における勧誘方法などについてさまざまな情報提供がありました。日本医療労働組合連合会(医労連)と協力して勧誘を行っているという報告もあり、参考になりました。



### 2. 賃金・労働条件

賃金・労働条件では主に2015年人事院勧告対応の報告がありました。2015年人事院勧告はプラス勧告だったわけですが、国会での審議がなかなか行われず人事院勧告にしたがって給与法が改定されたのは1月20日でした。各大学は人事院勧告準拠をしかけており、給与法改定にともないおおむね人事院勧告通りの給与改定を行っています。岡山大学でも人事院勧告通りの改定でした。

しかし、これまで足並みをそろえて人事院勧告通りの改定を行ってきた国立大学ですが、そろそろほころびが出始めています。人事院勧告がプラスであってもマイナスであっても大学に配分される運営費交付金の金額は変わりません。したがって人事院勧告がマイナスなら大学はお金に余剰ができ、プラスなら大学はそのプラス分をどこかの予算からもってこななければなりません。今年はプラス改定でほとんどの大学が人事院勧告通りでしたが、いくつかの大学では団体交渉の際に「今年は人事院勧告通りにできたが、もし来年もプラス勧告だったら来年は人事院勧告通りにできないかもしれない」と言われたとのこと。また、人事院勧告で地域手当が増額になっているところ(岡山大学は以前のままです)は、地域手当を人事院勧告通りには上げることができなかった大学が出ています。大学にお金がないという状況がついに給与にも影響を与えようとしています。高等教育にもっと予算をつけるよう幅広い運動が必要

要だと感じました。

今回、島根大学での55歳以上昇給停止問題は大きな成果だと思います。(2014年1月から55歳以上昇給停止)。島根大学職員組合ではこのことについてずっと代償措置を要求してきました。代償措置の内容は2013年度時点で昇給停止した55歳以上すべての教職員に対し臨時給与あるいは手当の形での代償措置を求めるというものでした。それに対し島根大学側は代休、研究費増額、カウンセリングの実施を代償措置として提示してきました。島根大学職員組合はそれに納得せず交渉を続けてきた結果、ついに大学から提案している代休、研究費増額、カウンセリングに加えて組合に和解金200万円を払うという案を提示してきました。島根大学職員組合はこれ以上の交渉の長期化はのぞましくないと判断からこれを受け入れたとのこと。島根大学職員組合ではこの200万円を2013年度時点で55歳以上だった組合員に分ける方針だということです。

他にも徳島大学で「組合がうるさいから」という理由で職員の駐車場代が減額になったなど、いくつかの組合で賃金・労働条件で成果を勝ち取っていました。私たち岡山大学職員組合もかんばろう、と元気をもらいました。



### 3. 大学・高等教育、平和・民主主義

この間の「ガバナンス」改革で学長の権限が強化されています。その影響が各大学であらわれているようでした。学長の権限が強化されるということは誰が学長になるかで大学が大きく変わりうるということです。その意味でどのように学長を選考するかは重要な問題です。多くの大学で次期学長の選考に現学長の意向が強く反映されるような制度となっていることが報告されました。

福岡教育大からは学長が行った「不当労働行為」に対して福岡県労働委員会から救済命令が出されたことが報告されました。これは学長の暴走にNOを突きつけた画期的なものであると評価しています。

大学の改組問題では、多くの大学が改組で問題を抱えているようです。文科省のアドバイスに従って改組に伴う採用人事を行ったが設置審で落とされるという事例があったとの報告が複数の大学からありました。

卒業式での国歌斉唱についての鳥取大の取り組みが報告されました。鳥取大では昨年まで卒業式では国歌斉唱をしていなかったのですが、今年の卒業式の式次第に国歌斉唱が入っているとのこと(岡山大では以前から入学式・卒業式の式次第に国歌斉唱が入っています)。それに対し鳥取大学教職員組合では外国語教員からの反対の声を集めるという取り組みをされています。非常に興味深い取り組みだと思いました。(笹倉万里子)

## ローカル線で行く！フーテン旅行記

### 第32回 大歩危・小歩危の絶景と祖谷の秘境を訪ねて！ 土讃線

工学部単組 大西孝

香川県と高知県を結ぶ土讃線、今回は秘境駅として有名な坪尻駅を通過して阿波池田まで来ました。土讃線の特急列車に乗っていると、あまり気に留められないかもしれませんが、この阿波池田は、「阿波」が付く駅名からも分かります。徳島県にあります。土讃線は、阿波池田の前後で四国三郎こと吉野川に沿って走り、特に大歩危（おおぼけ）駅や小歩危（こぼけ）駅の辺りでは、吉野川が作り出した深い渓谷を列車から味わうこともできます。特急列車だとあっという間に通過してしましますが、この区間では春と秋にトロッコ列車が運転され、心地よい風に吹かれながら、渓谷美をゆっくりと眺めることができます。吉野川を渡る鉄橋の上を通過する際には速度を落とし景色を堪能できるように配慮された、至れり尽くせりの楽しい列車です。ちなみにこのトロッコ列車は、琴平から大歩危の間で運行されているので、前回ご紹介した坪尻駅にも停車します。まさに秘境を味わうトロッコ列車といえましょう。

ところで、大歩危・小歩危の渓谷は上から眺めるだけでなく、船に乗って川から屹立する岩盤を眺めるのも一興です。上流の大歩危峡から遊覧船が出ており、気軽に大歩危・小歩危の絶景を楽しむことができます。大歩危峡が比較的川幅が広くゆったりとした風景であるのに対し、小歩危峡は川幅が狭く、船の両側に岩が壁のように迫ってきて迫力満点です。川面からずいぶん高いところに土讃線の線路も時折見え、何気なく車窓から眺める川の風景も下から眺めるとずいぶん異なった雰囲気です。

大歩危駅から、さらにバスで20分程度、祖谷の里へ分け入っていくと、全国的に有名な祖谷のかずら橋に着きます。かずら橋は足元から川面が見え、かなり揺れるのでスリルがあります。また、ここに来るまでの路線バスの車窓も見逃せません。深い谷の上にも家々が並んでおり、山深いと

ころでも古くから人々が生活してきたということに驚きます。

何気なく特急列車で通過する沿線にも、色々な見所があります。そんなところを、普通列車や地元の路線バスで一度ゆっくり訪れてみると、また今度、特急列車で通過する際にも、車窓をより楽しめるようになると思います。特に自然豊かな四国は、海、山、川が車窓に近い路線もたくさんあります。岡山からだと瀬戸大橋を渡れば気軽に訪れることもできますので、週末のミニトリップにお勧めです。



こちらは大歩危駅に近い鉄橋から眺めた吉野川。小歩危駅付近の様子と比べると、兩岸がそれほど切り立っていません。



吉野川のすぐ横に位置する大歩危駅。かずら橋へはこの駅からのバスが便利です。



スリル満点のかずら橋。こんな山奥によくぞ橋をかけたなあと感心せざるをえません。

#### 岡山大学職員組合 加入申込書（組合役員または、学内便にて組合事務所宛に提出してください）

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。

氏名： \_\_\_\_\_ 性別： 男・女 所属： \_\_\_\_\_

職種： \_\_\_\_\_ 連絡先（内線・E-メールなど） \_\_\_\_\_